

株式会社ひらく、 都市型ブックホテル「HOTEL TAU, KUMAMOTO」の リブランディングをプロデュース

～2026 年 2 月、同ホテル内に夏目漱石をキーにしたパーミアム開業も決定～

株式会社ひらく（代表取締役社長：染谷 拓郎、<https://hiraku.info/>、以下ひらく）は、熊本県熊本市に 2025 年 10 月 1 日（水）オープンした都市型ブックホテル「HOTEL TAU, KUMAMOTO（ホテルタウ熊本）」（旧 ホテルサンルート熊本）のリブランディングをプロデュースしました。

併せて、同ビル 1 階に新設される文学ミュージアム「夏目パーミアム」では、コンセプト立案から運営支援までを総合プロデュースしており、2026 年 2 月の開業を予定しています。



■背景

ひらくは、「場と機会をつくり、うれしい時間を提供する」を企業理念に掲げ、“文化を喫する、入場料のある本屋”「文喫」の運営のほか、ブックオーベルジュ「箱根本箱」のブックディレクション、雑誌の図書館「COVER」、佐賀県・嬉野温泉「和多屋別荘」内の書店「BOOK&TEA 三服（さんぷく）」、山口県下関市の“まちの本屋&ホテル”「ねをはす」といったさまざまな文化施設・宿泊施設のプロデュースを手がけてきました。

今回のリブランディングにあたり、熊本市内の繁華街で長年親しまれてきた「サンルート熊本」を「文化が香り、人々が文化と自然に交わる、街にひらかれた存在」へと再生したい谷脇ビルの想いと、ひらくがこれまで培ってきた“文化的コンテンツを活用した場づくり”の知見が重なり、実現に至りました。

■プロデュースのポイント

① 文化を軸に「まちにひらかれたホテル」へ

ホテルが建つのは、文豪・夏目漱石が熊本で暮らした旧居跡。熊本での体験をきっかけに『草枕』などの作品が生まれた土地でもあります。こうした歴史的背景に着目し、コンセプト「Travel As Unique ～ユニークな旅を～」のもと、文化と旅を結びつける体験設計を行いました。

宿泊者専用ブックライブラリー「TAU Library」をはじめ、地域の文化と人々が交わる拠点として、1 階には夏目漱石の人物像・人柄にフォーカスした文学ミュージアム「夏目パージアム」を新設します。

② 文化に触れ、旅の捉え方を広げる「TAU Library」のブックディレクションと空間演出

熊本という土地やそこに暮らす人々を知るきっかけを提供すべく、ホテル 4 階のエントランスには、宿泊者専用ブックライブラリー「TAU Library (タウ ライブラリー)」を新設しました。

「熊本を歩く」「漱石をほどく」「文化とつながる」3 つのテーマに沿って、ブックディレクターが 9 ジャンル・約 2,000 冊を選書。さらに、ホテルスタッフのセレクトも加え、合計約 5,000 冊の本を楽しむことができます。

漱石の日記から引用した“食”にまつわる一節をホテル内の什器にあしらうなど、選書だけでなく空間演出にもこだわり、訪れる人の感性を刺激し、“ユニークな旅”へとつながるライブラリー空間を目指しています。



▲TAU Library

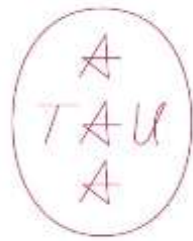
③ 文学ミュージアム「夏目パージアム」(2026 年 2 月開業予定、順次情報公開)

“Perseum (パージアム)”は、Personality (人柄) と Museum (博物館) を掛け合わせ、ひらくが名付けた造語です。文豪・夏目漱石のパーソナリティを入口に、より気軽に、そして深く文学に親しめる新しい文化体験を提案します。ホテルが建つのは、漱石が熊本で暮らし、結婚という人生の節目を迎えた旧居跡。「夏目パージアム」は、その歴史的背景を生かしながら、これまでにないかたちで漱石や文学に触れられる場所として誕生します。

④ 熊本発のクリエイティブも積極採用

今回のリブランディングでは、ホテルのロゴや Web サイトを一新し、土地の空気感と等身大の魅力を生かしたデザインへと刷新しました。熊本出身や熊本を拠点に活動するデザイナーやフォトグラファーなど、地域のクリエイターとも協働し、“Travel As Unique～ユニークな旅を～”というコンセプトを視覚的に表現しています。

《ロゴデザイン》 KIGI / キギと創造株式会社



HOTEL TAU
★ ★ ★
TRAVEL AS UNIQUE!

<クリエイティブディレクター・植松亮輔氏 コメント>

HOTEL TAU のロゴは「Travel As Unique」という言葉の意味から引き出してデザインしたものです。このロゴを設計するにあたり、ホテル名のおよそセンターにあたる「TAU」の中に偶然「星」を見つけました。このホテルは新しく熊本の夜に輝く星になればという思いとともに、「三ツ星ホテルだよ」というユニークなメッセージをデザインの中で感じていただければと思っています。旅というものは思いがけない出会いがあったり、偶然なにかを見つけたりするものです。プロセスそのものに面白さを感じながら、旅する感覚でロゴの設計を進めたとてもユニークな体験でした。



植原亮輔氏



渡邊良重氏

KIGI / キギと創造株式会社 (<https://ki-gi.com/>)

植原亮輔と渡邊良重により設立。企業やブランドのアートディレクションのほか、プロダクトブランド・KIKOF や、ほぼ日とのファッションブランド・CACUMA などのデザインコンテンツを手掛ける。東京・池尻でギャラリー&ショップ「OFS.TOKYO」を運営するほか、ジャンルに拘らず自在な発想と表現力でクリエイションの新しいあり方を探し、活動している。代官山ヒルサイドフォーラム「all is graphics」展 (2022)、宇都宮美術館「KIGI WORK&FREE」展 (2017)、大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレに「スタンディング酒 BAR・酔独楽」出品 (2018)。東京 ADC 会員賞 (2023,2019,2017)、東京 ADC グランプリ (2015)、亀倉雄策賞 (11th 植原,19th 渡邊) 等受賞。

《Web サイト》株式会社グライダーーツスタジオ (制作)、白木 世志一 (撮影)



<アートディレクター／デザイナー・今村一生氏 コメント>



今回はお声がけ頂きありがとうございます。
単純でやさしいウェブサイトであることを第一に、ホテルの個性を伝え、なおかつ今後の情報発信など運用面での実用性を考慮した意匠としました。
余談ですが 20 年以上前、私はこの近くでバイトをしていたので、ある意味思い出の場所でもありました。これからこの場所がまた別の誰かの思い出の場所になると素敵だなと思っています。

株式会社グライドアーツスタジオ (<https://www.glide.co.jp/>)

1997 年設立。創業以来クライアントより直接依頼を受け、少数精鋭のチームでウェブサイトの企画から制作、公開後の運用まで社内でワンストップで手がける。普遍的で人間的な価値観と新しい技術、どちらも大切にしたいうえでクライアントの期待を超える表現や演出を行う。



<カメラマン・白木 世志一氏 コメント>

かつての熊本市中心部随一の書店敷地が、まさか夏目漱石の旧居だったとは露知らず、恥ずかしながらこの撮影に携わって初めて知りました。130 年の時を経て、その跡地に漱石ゆかりの洒落文学拠点が登場することを、同県民として大変嬉しく思っています。この場所がきっと、これからも、街をのどかにし、旅人の心を豊かにする尊い存在になるのでしょうね。

白木 世志一 (<https://www.yoshikazushiraki.com/>)

しらき・よしかず。1970 年 5 月 24 日生まれ。商業カメラマン。ホモサピエンス、長男、夫、父。1995 年に九州産業大学芸術学部写真学科卒業後、出版社に勤務し編集に従事。2009 年より商業カメラマンとして独立。熊本県熊本市出身在住。

【施設概要】

名称 : HOTEL TAU, KUMAMOTO (ホテルタウ熊本)
住所 : 熊本県熊本市中央区下通 1-7-18
[4 階] ホテルレセプション、ライブラリー
[5～10 階] ホテル客室 (全 69 室)
営業時間 : チェックイン 15:00～23:00、チェックアウト 11:00
URL : <https://tau-kumamoto.com/>
運営 : 株式会社谷脇ビル (代表取締役社長: 佐藤 達郎)



■会社概要

「人と文化のつながりを大切にして、すべての人の心に豊かさを届ける」を経営理念に掲げる日販グループホールディングス株式会社 (代表取締役社長: 富樫建) のグループ会社です。本のある場所や空間の価値を見つめなおし、本をはじめとした文化的コンテンツを用いて、生活者が暮らしの豊かさ・楽しさを感じられるような場づくりに取り組んでいます。「文喫事業」「プロデュース事業」「公共プレイス事業」の 3 事業を軸に、“文化を喫する、入場料のある本屋”「文喫」の運営のほか、「雑誌の図書館 COVER」、まちの本屋&ホテル「ねをはす」のプロデュースなどを手がけています。

会社名 : 株式会社ひらく (HIRAKU Inc.)
URL : <https://hiraku.info/>
代表者 : 代表取締役社長 染谷 拓郎
所在地 : 東京都千代田区神田駿河台 4 丁目 3 番地
設立 : 2022 年 4 月 20 日
事業内容 : 文喫事業、プロデュース事業、公共プレイス企画事業
企業理念 : 場と機会をつくり、楽しい時間を提供する

ひらく

本件に関するお問い合わせ

株式会社ひらく プロデュース事業部 担当: 深井、上田、奈良部
TEL.03-3233-4802 E-mail: hiraku@nippan.co.jp

報道関係の方のお問い合わせ

株式会社ひらく 事業統括部 広報担当: 陳之内、浅野
TEL.03-3233-3829 E-mail: press@nippan.co.jp